

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 いい地球号 (E195)			
○保護者評価実施期間	令和8年2月5日(木)		～	令和8年2月12日(木)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和8年2月5日(木)		～	令和8年2月12日(木)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 11日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人施設であり、併設している本妙寺こども園の利用児童が中心に利用しているため、子どもも保護者も安心して、利用しやすい環境にある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども園利用の保護者の中で、子どもの育ちが気になる方等に事業所開放日を設けて、保護者が相談しやすいようにしている。</li> <li>指導員が送迎の際や利用児のクラスにサポートに入った際にこども園の利用児童に対しても声掛け等して身近な存在となっている。</li> <li>療育について限られたスペースを内容に応じて、子ども達を楽しめるように工夫して取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用保護者から療育利用で成長した子どもの様子など感想を集め、他の保護者にその効果を伝える広報活動をする。</li> </ul>
2	子どもが安心して利用出来ている為「療育」に通うことへの抵抗感が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども園の職員が、「療育」に対する理解を深めており、日常的に療育の安心や効果の良さを保護者に話している。</li> <li>こども園の行事の一部にも療育の一環として参加している為、療育と保育が一体的に出来ている</li> </ul>	両施設の職員の交流をする
3	こども園担任と療育施設職員の情報共有が日常的にしやすい、子ども理解がしやすい。療育のノウハウも共有しやすい。	クラス共有会議として、こども園の担任と療育職員と子どもの様子、療育での様子、関わり方の共有等話し合いで理解を深めている	療育場面を見学したり、職員交流で学び合う機会を作る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所から1年、新しいことへの挑戦が多く、学ぶことが多かった。こども園の行事参加と療育の調整が難しい。併設のメリットはあるが、優先順位がつけづらい所がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育時間と園行事時間が重なる事</li> <li>こども園には午睡・おやつ時間があり、午後療育利用児の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育時間の変更</li> <li>計画的な利用の組み合わせ。</li> <li>保護者が利用の選択をしやすいように、また、わかりやすいように、こども園の園行事を表示し、保護者が利用を決定するように工夫する</li> </ul>
2	職員数に余裕がない		事業所見学を受け入れ、事業所の強みを伝え、面接・採用へつなげて、職員確保を継続して行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 いい地球号 (E195)

公表日 2026年 4月 13日

利用児童数 2026年 2月 1日現在 10名

回収数 7名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2				
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1					

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	6			1	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7				子どもに寄り添った療育をされておりとても感謝しております。療育に行くようになり落ち着いた行動ができるようになったり、私生活においては療育に行く前と比べてかなり成長した姿が見られるようになりました。ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				通っている保育園内にあり、慣れた環境で療育に参加でき、安心して参加することができています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				連絡帳で活動の様子を教えて頂いたり、個別面談で、成長や課題を教えて頂いています。PT、ST、OTさんなどの介入もあり、専門的なアドバイスを先生を通して伝えて頂いています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 いい地球号 (E195)		公表日 2026年4月 13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			床のマットレスの色が2色ではなく1色でもよかったと感じる	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		テラスの場所がクールダウンできる場所になっている		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			話し合いの機会を増やしていく	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを共有できるようにしている 個別療育に力を入れている。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		関わる職員全員の意見を聞いたり、作成した支援計画を確認し合っている。 自発管や指導員だけではなく本妙寺子ども園のクラス担任とも情報共有が出来ており、より集団での様子も分かりやすい。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	園の行事優先になっており予定変更が多々ある。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		働き方の関係で、支援前の打ち合わせを全員揃って行われていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	個別支援後は情報共有する事が出来ている日もあれば出来ない日もあるので、出来ない日は個人で記録を見る様にしている。	働き方の関係で、全員揃って行われていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援記録をとる時間を設けている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		併設しているこども園と共有している。利用児童のクラス担任と1回/月クラス共有会議を設けている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		移行支援シートを作成し情報共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	個人情報や、守秘義務の関係機関上活用していない	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			現在、服薬管理やてんかん既往がいる利用者はいないが今後出てくる可能性もあるため知識として把握しておく必要がある。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	併設園のマニュアルを共有利用する	現在アレルギーがいる利用者はいないが今後出てくる可能性もあるため、アレルギー者がいたら掲示する必要も出てくる。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				